



Veritas Alta ソリューションの概要

現状と概要

クラウドファースト時代の今、データは爆発的に増加しています。昨年だけで、全世界で 74 ZB ものデータが新たに生成されました。これをさらに複雑化させる事実として、IDC はこうしたデータの 80 から 90% が非構造化データであると報告しています。クラウドに移行するリフトアンドシフト戦略によって、IT 部門、クラウドアーキテクト、クラウド管理者はさまざまな課題を抱えることになりました。具体的には、クラウド環境全体における可視性、セキュリティ、バックアップ、データ制御です。クラウドサービスプロバイダ (CSP) から提供される各種バックアップツールやリカバリツールには互換性がないだけでなく、巧妙化するサイバー犯罪や自然災害の猛威、人的エラー、想定外のクラウドサービス停止に耐えられないものもあります。Vanson Bourne 社が実施した最近の調査によれば、回答企業の 99% が CSP 提供のセキュリティツールをある程度利用しているものの、そのうち 76% は、パブリッククラウドのサービスプロバイダが提供する現行ソリューションが、自社のセキュリティニーズを満たしていないと感じています。さらに懸念されるのは、回答企業の 89% が、クラウド環境に保存されているデータへのランサムウェア攻撃を経験しているということです。

89%

クラウドストレージにランサムウェア攻撃を受けたことがあると回答した企業

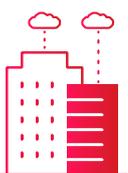
CSP とお客様は、セキュリティとコンプライアンスに関する責任を共有します。つまり、CSP はクラウド自体の回復力に、お客様はクラウド環境内の回復力にそれぞれ責任を持つという責任共有モデルが適用されます。お客様は、データ、セキュリティ、バックアップのほか、ワークロードアーキテクチャ、フェールオーバーを適切に管理する必要があります。

Veritas Alta™ は、ベリタスのあらゆるクラウドサービスとソリューションを融合したポートフォリオで、どのような環境にも構築できる包括的なクラウドデータ管理プラットフォームです。責任共有モデルのお客様の担当範囲だけでなく、さらにその先のシナリオでの役割をサポートします。データとアプリケーションの安全性および高可用性を保証し、コンプライアンスを徹底しながら、ビジネスの俊敏性を高めてコストを削減することで、ビジネスの成長を支援します。

ランサムウェア攻撃に対する優れた回復力



Veritas Alta には、システム強化、AI ベースの異常検出、マルウェアスキャン、改ざん防止などの多層的なセキュリティ機能が搭載されているため、データを保護し、攻撃対象となる領域を最小限に抑えることができます。また、インテリジェントな自動オーケストレーションや、コスト効率が高く業務を中断しないリカバリリハーサルなど、リカバリのための豊富な選択肢と柔軟性を備えています。



すべてのデータの保存場所を正確に把握しながら、優れた可視性とインサイトによって、運用の複雑さとコスト管理を最適化します。

ベリタスのクラウドネイティブアーキテクチャにより、自動化、人工知能、柔軟性を組み合わせて、コスト効率、セキュリティ、自律性に優れたクラウドデータ保護を実現します。

Veritas Alta View: 保存場所を問わずデータ保護を制御

Veritas Alta™ View では、オンプレミスでもクラウドでも、各種データ保護機能をクラウドベースのコンソールで一元管理できます。つまり、オンプレミスとクラウドに分散するワークロード用の複数のソリューションを監視するのではなく、1 つのコンソールで、あらゆる拠点、全ドメインのデータを管理できます。

さらに、ベリタスの分析エンジンによって詳細なレポートや実用的なインサイトが得られるほか、データ資産の全体像を把握してサイバーセキュリティ対策を包括的に強化できます。AI と機械学習を活用してデータ管理を自律的に行うことで、IT チームはビジネスにとって重要な新しい活動に専念できるようになります。

アプリケーションの回復力: 常時稼働するビジネスを実現

Veritas Alta は単体製品や CSP ツールとは異なり、仮想、コンテナ、ペアメタルを問わず主要なクラウドインフラをすべてサポートし、アプリケーションの優れた回復力を実現しています。お客様は、共通のツールセットを使用して、マルチクラウド環境でのアプリケーションの高可用性や、変化するビジネスニーズに大規模に対応できる俊敏性を実現したり、パブリッククラウドとプライベートクラウドの間でのアプリケーションの移行やオンプレミスへのアプリケーションの回帰を簡単に実行したりできます。

このようにアプリケーションの回復力を高めることで、必要なパフォーマンスレベルを確保しながら、アプリケーションを移行可能にし、計画的および計画外のダウンタイムでもミッションクリティカルなサービスを保護できます。

データのコンプライアンスとガバナンス: 情報リスクの検出と修復

Veritas Alta にはベリタスの主要なコンプライアンスとガバナンス製品のクラウド機能が統合されており、お客様は所有するすべての情報に基づいて意思決定を行うことができます。また、コンテンツ分類の自動化や法的手続き時の関連データの検出、ダークデータ解消によるリスクの低減、コンプライアンスの徹底、データフットプリントの最適化も可能です。

Veritas Alta は、オンプレミス、IaaS、ハイブリッド、仮想、SaaS といった柔軟な配備オプションを備えた唯一のソリューションです。

クラウドの包括的な制御

- さまざまなクラウド環境 (マルチ、ハイブリッド、プライベート、エッジ、オンプレミス) に構築できるクラウドネイティブソリューション
- 柔軟な従量課金型モデルで、容易に実装可能
- クラウドリソース使用量を最適化してエンタープライズ規模に対応 (重複排除、オートスケール)
- 充実した機能を持ちながらも簡単な操作で直感的に使える UI
- 実績のあるベンダーによる高い信頼性
- API を使用したインテグレーションと自動化
- Kubernetes、PaaS、IaaS などの最新ワークロードに対応した設計

詳細はこちら

Veritas Alta の詳細については、[veritas.com/alta](https://www.veritas.com/alta) をご覧ください。

1. 「The Not-So-Silver Lining of Cloud Service Providers」 Tools (クラウドサービスプロバイダ提供ツールの現状) マルチクラウド環境における企業データの保護に関する 2022 年調査レポート | Vanson Bourne 社とベリタス (2022 年 10 月)

ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

VERITAS

〒107-0052 東京都港区
赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階
www.veritas.com/ja/jp

各国オフィスとお問い合わせ先については、弊社の Web サイトを参照してください。
[veritas.com/ja/jp/company/contact](https://www.veritas.com/ja/jp/company/contact)